

事業所名

スマイル

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和6年

4月

1日

法人 (事業所) 理念		一度きりの人生を豊かにしよう					
支援方針		支援を通して子ども達に規律を身につけてもらうことを目指します。					
営業時間		12時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支援内容							
		日常生活の支援		関わり方の支援		文化社会の支援	
本人支援	健康・生活	■自己管理 身なりを整えたり、整理整頓をしたり生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援します。		■心理的安全性の維持向上 子ども達との関係性の土台となる安心感を与えられるように支援します。		■時間の見通し / 行動計画 障がいの特性に配慮し、時間や活動の見通しを本人にわかりやすくする構造化を行います。	
	運動・感覚	■姿勢保持 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢の保持や手足の運動、動作の改善や体力の向上を支援します。		■運動機能を働かせる遊び ボールや風船などを使った遊びの中で眼球運動の練習や身体認知、協調運動能力の向上などによる感覚統合を支援します。		■手先の器用さの向上 折り紙や工作などの活動、あるいは遊びを通して、指先の器用さや力加減をコントロールする練習を行います。	
	認知・行動	■注意のコントロール 環境から情報を取得し、必要なメッセージを選択し、行動につなげるという認知過程の発達を支援します。		■視座の転換 認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮します。		■概念の形成 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行います。	
	言語コミュニケーション	■適切な自己表現 本人の意見や考えを、相手が理解しやすいような伝え方や言葉遣いができるように支援します。		■双方向的なコミュニケーション能力の向上 人との関わりを通して、共同注意の獲得や会話のキャッチボール等、コミュニケーション能力の向上のための支援を行います。		■体験の言語化 具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行います。	
	人間関係社会性	■周囲に相談・助けを求める 困りごとを相談したり、必要な援助を求められるような関係性を形成するための支援を行います。		■集団適応 集団に参加するための手段やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援します。		■問題解決の手段の獲得 問題に直面したときには、質問したり、調べたりするなどの問題解決の手段を実行する練習を行います。	
家族支援		・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助を行います。 ・レスパイトや就労等の預かりニーズに対応するための支援を行います。			移行支援		・具体的な移行または将来的な移行を見ずして支援目標や支援内容を設定して、本人の発達支援を行います。
地域支援・地域連携		・子どもが利用する相談支援事業所や障害福祉サービス事業等との生活支援や発達支援における連携を行います。 ・地域資源を活用した余暇活動を行います。			職員の質の向上		・毎月の事業所研修を通じて知識や技術を学んでいます。 ・日々の支援の情報共有を行い、スタッフ間の連携を強化しています。 ・スタッフ評価とフィードバックを定期的に実施し、スキル向上をサポートしています。
主な行事等		正月遊び、バレンタインクッキング、卒業生を送る会、母の日プレゼント作り、カラオケ大会、プラモデル作り、夏祭り、ハロウィンイベント、他事業所合同イベント、クリスマス会					